

菅沢ダムとその水源地域を元気にする 「菅沢ダム水源地域ビジョン」始動！

菅沢ダムは昭和43年の完成から約40年の歳月が流れダム周辺環境も変化してきました。ダムの水源である鳥取県日南町の大宮校区(水源地域)は少子高齢化の波に押されて、水源地域の住民に依存した水源の保全が困難となりつつあります。

そこで菅沢ダムと水源地域である大宮校区、日南町などが協力して水源地域の活性化行動計画である「菅沢ダム水源地域ビジョン」作成に乗り出し、平成17年度より幾度と無く活性化に向けた協議を重ねてまいりました。

作成した水源地域ビジョンは無理なく、出来ることから少しずつ進めていけるような地域活性化策としました。

その結果、『菅沢ダムと共に歩み里山おおみやを守り、未来へ受け継いでいこう』という目標を定め、3つの基本方針を決めました。

1. 菅沢ダム(日南湖)と里山おおみやの連携強化と広域交流活動、PRの促進
2. 日南湖、里山おおみやの自然・歴史文化の活用
3. 水源地域、里山おおみやの暮らしの保全と特産品づくり

これらを「菅沢ダム水源地域ビジョン」として公表し、この目標とその方針をもとに、これから大宮校区と菅沢ダム、自治体が協力して活動を進めていきます。水源地域に住む人々がいつまでも元気で、日々の営みをより楽しむことができるように地域の情報を発信しながら、近隣校区や流域との交流を行いながら活性化につなげていきます。

* 「菅沢ダム水源地域ビジョン」は、日野川河川事務所ホームページの中で3月29日より公表します。

菅沢ダム水源地域ビジョンロゴマーク



このロゴマークは菅沢ダムの水源地域である大宮の里山・川・ダム湖をイメージしています。

水源地域ビジョン策定に向けた会議の様子



【問い合わせ先】

国土交通省 中国地方整備局 日野川河川事務所

(技) 副所長 有津 智弘

菅沢ダム管理支所長 石原 淳男

日野川河川事務所

TEL (0859) 27-5484 FAX (0859) 27-2431

菅沢ダム管理支所

TEL (0859) 87-0311 FAX (0859) 87-0313



「菅沢ダム水源地域ビジョン」 ～これまでの経緯とこれから～

1. 菅沢ダム水源地域ビジョンの策定まで

平成17年よりビジョン策定に向け会議を重ねてきました。その中では話し合いだけでなく、社会実験プログラムの実施(大宮里山まつり&菅沢ダム見学会)、水源地域ビジョン事業や策定状況をPRする情報紙の発行などにも積極的に取り組んできました。



水源地域ビジョンの策定に向けて、「菅沢ダム水源地域ビジョン検討委員会」「菅沢ダム水源地域ビジョンワーキング」を設立し、地域づくりに対する意見交換を行っていききました。



「大宮里山まつり
&菅沢ダム見学会」
社会実験として菅沢ダムと共同で開催。その準備と運営を地域で協力して開催しました。
米子市や境港市からも来場者が訪れ、地域の魅力を住民自身も再認識しました。

2. 本格的に動き出した「菅沢ダム水源地域ビジョン」

菅沢ダム水源地域ビジョンにある3つの基本方針には、それぞれ以下のような施策にもとづいて、今後の活動を推進していきます。(詳細は、公表資料をご覧ください)

●基本方針1 菅沢ダム(日南湖)と里山おおみやの連携強化と広域交流活動、PRの促進

- 1) 大宮里山まつり&菅沢ダム見学会の継続的な実施
- 2) 菅沢ダム展示ホールの活用
- 3) 菅沢ダム周辺施設(公園・道路)の利活用促進
- 4) 交流活動づくり
- 5) 交流組織づくり
- 6) 日南湖・里山おおみやの資源ガイドマップとサイン施設整備
- 7) 特色ある祭りや、四季の写真など広報資料の収集整理
- 8) 各種情報発信機会の活用

●基本方針2 日南湖、里山おおみやの自然・歴史文化の活用

- 1) 日南湖・里山おおみやめぐりのルート、環境整備
- 2) 日南湖・里山おおみやガイドの育成
- 3) 菅沢ダム、里山おおみやの環境学習プログラムの作成

●基本方針3 水源地域、里山おおみやの暮らしの保全と特産品づくり

- 1) 田舎暮らし体験プログラムの検討
- 2) 空き家の利用
- 3) 旧大宮小学校の活用
- 4) 食いしんぼう さろん(大宮の食の研究会)の設立
- 5) 大宮特産市の発展

具体的には菅沢ダムを活用したイベントの開催や、大宮校区における郷土食の研究や特産品の開発など活動を展開していきます。

今後は活動の進捗状況やイベントなど随時、あらゆる形で地域から情報を発信いたします。



水源地域ビジョン事業やビジョン策定への進捗状況を紹介する情報紙「里山おおみや」。
大宮校区の全戸、日南町、日野川河川事務所に配布しました。

菅沢ダムと大宮校区の住民は協議を重ねる中で、自分たちの地域に他に誇るべき財産がいくつもあることを知り、多くの人々に地域を訪れてもらえることができると確信しました。そして水源の豊かな自然と人々の暮らしとその歴史を次世代を担う子供たちへ受け継いでいくことが重要であると結論付けました



菅沢ダム周遊ルートの再整備に向け、封鎖されたダム湖畔の町道で現状を確認する見学会を行いました。



大宮の食を研究する「食いしんぼう さろん」の活動。地域の女性たちが中心となり活動を始めました。